

これからの子どもたちの将来を願って

梅の木学級合川地区のつどい



▲今の子どもと親についての講演を熱心に聴講する梅の木学級の参加者のみなさん

合川農村環境改善センターで4月8日、約180名の婦人会員が参加し、「梅の木学級」のつどいが開かれました。

開会行事では、はじめに「あいかわを讃える歌（旧合川町民歌）」を斉唱。伊東和子婦人会長のあいさつのあと、講師の三澤仁教育長による「今の親と子どもの姿」と題した講演が行われました。

三澤教育長は、子どもを取り巻く環境について「子どもの数が少ないというのが一番の問題。もっと大きな集団のなかで、社会の仕組みなどを学ぶことが子どもたちの将来にとって必要」と指摘していました。

午後のレクリエーションでは、会員有志のグループによる歌や踊りなど、さまざまな出し物で交流を深め合い、有意義な時間を過ごしました。

学びの広場

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

な時間を過ごしました。

これからも会員一丸となって 鷹巣地区婦人学級連絡協議会総会

市中央公民館で4月21日、平成18年度北秋田市鷹巣地区婦人学級連絡協議会総会（会長寺田栄子氏）が開催されました。

鷹巣地区には17の婦人学級があり、335名の皆さんが身近なテーマで学習活動を行っています。

総会では今年度の事業計画として移動研修、婦学連だより発行、餅つき祭りへの参

加、講演会開催、文化祭行事、婦人芸能祭、公民館行事などへの参加、子育て支援へのボランティア活動を予定しております。また、本年度は役員改選も行われ、新役員も決定しました。

懇親会においては、みんなで歌の斉唱や会員による芸能発表も披露され、笑いも飛び交う大変楽しい時間を過ごしました。



▲17の婦人学級で組織されている鷹巣地区婦人学級連絡協議会。いずれの学級も身近なテーマで学習活動を行っています。



21世紀の生涯学習



子ども体験活動 ボランティア 募 集

「自らおこなう」楽しさ
「一緒に活動する」楽しさ
「学んだことを伝える」楽しさ
＋
「支える楽しさ」

北秋田市子ども未来塾では、放課後や休日の子どものための活動を支援する事業を行っています。

昨年度は、ゲームや工作、自然観察、昔遊び、軽スポーツなどを行いました。

今年度も引き続き、この事業を継続したいと考えていますが、さらに多くの方々の協力を得て、充実した内容で展開したいと計画中です。

そこで、子どもたちの体験活動に協力いただけるボランティア（サポーター）を募集いたします。子どもたちと一緒に活動したいと思っている方、子どもたちとふれあいたいと思っている方、ぜひお申し込みくださるようお願いいたします。お待ちしております。

■活動内容

子どもたちと一緒に遊んだり、遊びを教えたりします。また、子供たちが安全に活動できるように見守ります（子どもたちの側にいるだけでも結構です）。

＜活動例＞

工作、むかし遊び、軽スポーツ、読み聞かせ、調理、自然体験、踊り、その他

■活動時間

週1回、平日の放課後1～2時間程度

■活動場所

子ども未来塾「いきいきタイム」が行われている公民館、児童館、小学校など（鷹巣地区（鷹巣、西、綴子、栄沢口、七日市）、阿仁地区、森吉地区、合川地区）

■経費

ボランティア活動に伴う飲食代や謝礼などはありません

■資格

特に制限はありません。特技の有無を問いません。中学生以上ならどなたでも登録することができます（※性別、年齢、経験等不問）。**第一次締め切りは5月31日。なお、随時登録は可能です。**

■申し込み・お問合せ

市教育委員会生涯学習課内
北秋田市子ども未来塾事務局
☎6216618

映画「林檎の花咲く町」写真展を開催

本市ゆかりの作家・辻美沙子さん（1934―1999）原作による映画「林檎の花咲く町」（昭和38年・東宝作品）のスチール写真展が開催されます。

スチール写真とは、映画の宣伝・記録用に撮影された撮影現場の写真のこと。同映画の監督・岩内克己（いわうちかつき）氏の寄贈によるもので、大きなサイズに引き伸ばしたものを展示します。

映画には白川由美、峰岸徹、長谷川明雄ほか当時の東宝の青春スターや西村晃などの名優が出演、また、同名の主題歌を歌った高石かつ枝が出演したことも話題になりました。昭和30年代の懐かしさにあふれています。

合わせて映画の広報用資料や辻さんを紹介する資料の一部なども展示する予定です。

■期 日 5月27日（土）～28日（日）

■時 間 午前9時～午後5時

■会 場 北秋田市文化会館エントランスホール

■入場料 無料

■展示物 映画「林檎の花咲く町」スチール写真40点
映画広報用資料・辻美沙子氏資料ほか

（問）広報情報課
☎6216608



本市ゆかりの作家
辻美沙子さん原作

